

【2010年 年頭所感】

2010年 1月 4日

定着の年

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス
代表取締役社長 和田 洋一

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、変化の年でした。

経済界では、金融市場の乱高下が経済主体の再編を加速し、政界においては、米国大統領就任式で年が明け、我が国の政権交代で年末を迎えました。

これが、今後の安定に繋がるのか、再び混乱の始まりとなるかは、いまだ予断を許しません。しかしながら現時点では、まずは見守り、育む姿勢が必要なのではないのでしょうか。変化のための変化を求めすぎるとは、空虚なパフォーマンスを煽るだけです。

本年は、新たな枠組みが機能するか否かを見極める上でも、じっくりと定着させる時期なのだと考えます。

翻って私共については、昨年は、海外戦略の要としてアイドス社を傘下におさめ、内外で大幅な組織再編並びに人員調整を断行する等、今後10年のためのグループの骨格を構築することができました。

本年は、積極攻勢に変更はないものの、グループ内の配線工事にも留意しなければなりません。骨格をさらに大きくし、同時に各組織を有機的に繋げることで、スクウェア・エニックス・グループの「形」を示すことが課題となる年であると思っています。

ゲームと他のエンタテインメント・コンテンツとの相互侵食はさらに加速していくでしょう。環境の流動化を好機と見極め、世界のエンタテインメント産業を牽引するための足場を築く、定着の年にしていきたいと思えます。